

# 平成 1 5 年度農作物有害動植物発生予察情報 注意報第 1 号

平成 1 5 年 7 月 2 日  
山形県病害虫防除所

1 病害虫名 斑点米カメムシ類

2 対象地域 県下全域

3 発生量 多い

4 注意報発表の根拠

ア．6 月 2 3 ～ 2 4 日に行ったすくい取り調査の結果では、畦畔・農道等での確認地点率は 50%（前年：30%、過去 3 年間平均：39.3%）とやや高く、水田内での確認地点率も 14%（前年：16%、平年：7%）と平年より高い。

イ．アカヒゲホソミドリカスミカメの平均すくい取り虫数は、畦畔・農道等で 2.4 頭（前年 0.8 頭）、水田内で 0.3 頭（平年 0.1 頭）と多くなっている。

ウ．6 月 3 0 日現在、アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯での総誘殺数は、農業試験場 24 頭（平年 3.6 頭）、庄内支場 36 頭（平年 12.3 頭）と多い。また、園芸試験場予察灯にも 671 頭（前年 206 頭）誘殺されている。

エ．今後の天候は、気温が平年並か低い、降水量は平年並の可能性が大きいと予報されている。

5 防除法

ア．カメムシ類の生息密度低減のため、出穂 2 週間前までに畦畔、農道、休耕田等の除草（草刈り、除草剤散布、耕耘）を徹底する。なお、刈り取った草は搬出する。

イ．カメムシ類の発生が多いところや前年斑点米が多かったところでは、補完防除として穂孕後期の防除を実施する。

ウ．薬剤による基本防除時期は、穂揃期およびその 7 ～ 10 日後の 2 回とする。なお、粒剤を散布する場合は、穂揃期に湛水して散布する。

エ．本年の早生品種の出穂期は、平年より 2 日程度早まることが予想されているため、「はなの舞」、「あきたこまち」等の早生品種では、草刈り時期、防除時期が遅れないように注意する。

オ．アカヒゲホソミドリカスミカメは移動性が高く、除草や薬剤防除は広域で実施すると効果が高まるので、関係者と十分連携を図り組織的に取り組む。

6 その他

農薬は使用基準を遵守し、事故のないよう適正に使用する。特に早生品種については収穫前使用日数に注意する。

|           |                               |  |  |
|-----------|-------------------------------|--|--|
| 山形県病害虫防除所 |                               | 病害虫予察情報ファクスサービス  |  |
| 本 所       | 023-644-4241 FAX 023-644-4746 | FAX 023-644-4531   |  |
| 庄内支所      | 0235-78-3115 FAX 0235-78-3116 | ホームページ <a href="http://www.ippn.ne.jp/yamagata/">http://www.ippn.ne.jp/yamagata/</a> |  |

